

日赤おおつ

ほから



「星に願いを」(4西病棟にて) 写真提供：今村 真治(検査部)

滋賀県がん診療広域中核拠点病院・地域がん診療連携拠点病院  
高度救命救急センター・基幹災害拠点病院  
総合周産期母子医療センター・地域医療支援病院  
滋賀県肝疾患診療連携拠点病院・滋賀県難病医療拠点病院  
滋賀県エイズ診療拠点病院

大津赤十字病院

〒520-8511 大津市長等1-1-35  
TEL.077-522-4131 FAX.077-522-4385  
http://www.otsu.jrc.or.jp

## 理念

私たちは「人道・博愛」の赤十字精神にのっとり、患者さまの人權と意志を尊重して、最善の医療を提供し、地域の人々の健康増進に努めます。

## 基本方針

- ① 患者さまと共にあゆむ医療を心がけ、プライバシーと権利を大切にします。
- ② 医療の質の向上に努め、安全で高度な医療を提供します。
- ③ 救急医療に積極的に取り組み、災害救護に貢献します。
- ④ 地域の中核病院として他の医療機関との連携を推進します。
- ⑤ 研修・研鑽を積み、次代を担う医療従事者の育成に努めます。

■診療受付時間……午前8時から

■初診患者さま……①初診

■再診患者さま……③再来受付

ご紹介患者さまは

8時30分より⑩ご紹介患者  
さま受付にて受付します。

❖病院敷地内禁煙にご協力ください❖

## かかりつけ医を持ちましょう

 「かかりつけ医」とは

日常的な診療や健康管理等を行ってくださる身近な医院・診療所の先生の事を「かかりつけ医」と呼んでいます。

入院や検査、高度な治療が必要な場合、適切な病院・診療科を指示、紹介してもらえます。

普段からのお付き合いが大切です。あなたの健康状態、持病など包み隠さず話し合える「かかりつけ医」をもつことが安心の第一歩です。

## 「かかりつけ医」から紹介状をお持ちいただくメリット

- ◇病気の経過がよくわかり診断・治療を迅速に進めることができます。
- ◇「初診に係る保険外併用療養費」(2,160円)のご負担がありません。

## 「事前予約システム」をご利用ください

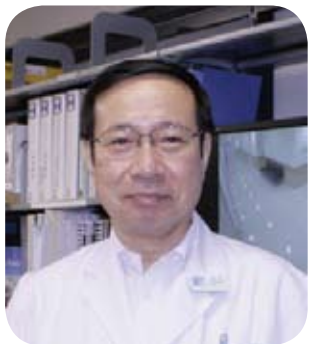
「かかりつけ医」を通じて「事前予約システム」をご利用いただけます。受付・診察の待ち時間が短縮されスムーズに受診いただけますので、ぜひご利用ください。

(患者さまから直接のご予約はできません)



# 近畿・東海圏内初 内部被ばく線量測定装置導入

## ホールボディカウンターのご紹介



第一放射線科部長  
芥田 敬三

福島第一原発の事故以来「内部被ばく」という言葉をよく耳にされるかと思います。内部被ばくとは、体内に取り込まれた放射性物質（放射能）から受ける放射線被ばくで、原発事故では大気中に放出された放射能を直接吸い込んだり、汚染された水や農水産物の飲食によって生じます。

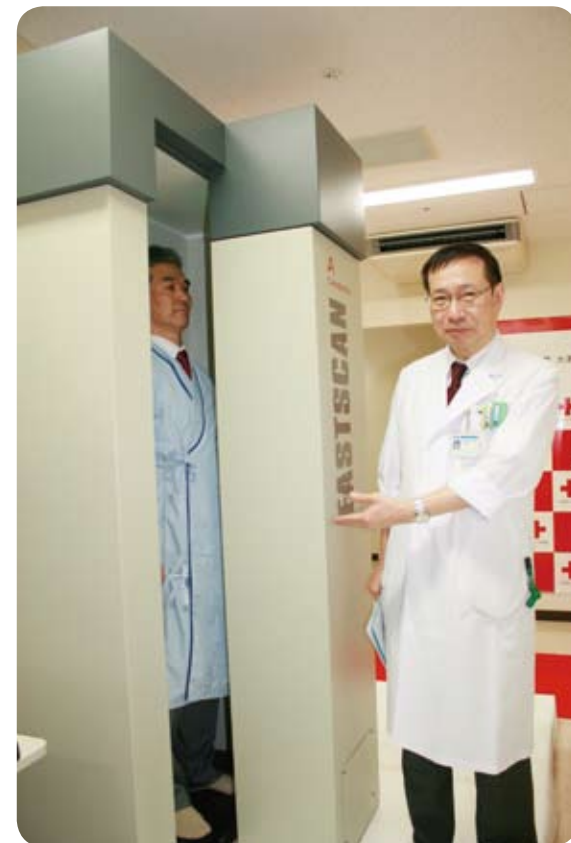
滋賀県は、お隣の福井の原発で万一同様の事故が起きた際、北部が30km圏内の緊急時防護措置準備区域（UPZ）に含まれるため、それに備えて平成25年3月に原子力災害に対する地域防災計画が立てられています。

その中で当院は、初期・二次支援緊急被ばく医療機関に指定されていますが、それに加えて本年3月に県の要請・補助を受けて、内部被ばくの測定・評価ができるホールボディカウンター（以下WBCと略します）が県内で初めて当院に設置されました。

WBCは原子力災害の際、一度体内に取り込まれると長期間体内に留まり、 $\gamma$ 線を出し続けるセシウム134（ $^{134}\text{Cs}$ ）とセシウム137（ $^{137}\text{Cs}$ ）からの放射能量（ベクレル、Bq）を微量でも検出器の前に2分間立っているだけで、精度良く測定できます。

測定したセシウムの放射能量（Bq）だけでなく、その結果から成人では今後50年間、子供では70歳までの将来にわたり受ける内部被ばくの目安の線量（シーベルト、Sv）（専門的には預託実効線量と言います）を推定して検査を受けた方にお示しできます。

当院のWBCは本来万一の原子力災害に備えて導入されたものですが、装置を有効に利用するため、滋賀県と福島県の協定に基づき、県内に約200人、近畿全体では約2千人おられる福島からの避難者でご希望の方を対象として内部被ばく検査を本年5月から開始しています。幸いこれまでのところ健康被害が問題となる内部被ばくを受けた方はおられません。また6月からは、ご自分の内部被ばく線量を知っておきたいという一般の希望者の方にも利用いただいています（お問い合わせ、お申し込みは医事課 外来係まで）。



ホールボディカウンター